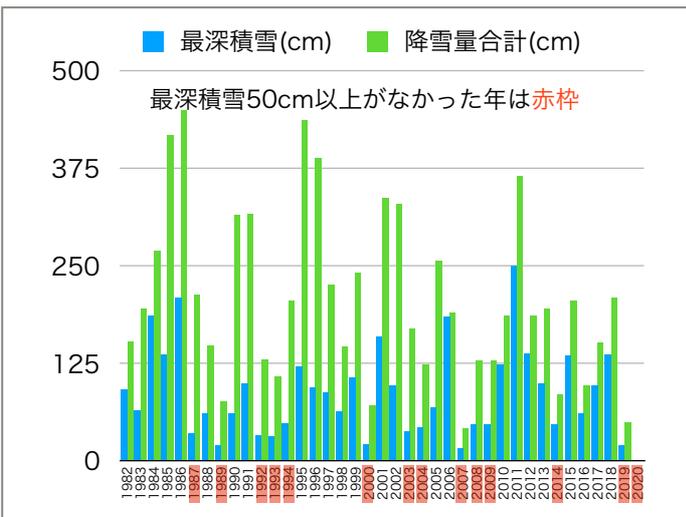


Yamakado News Letter

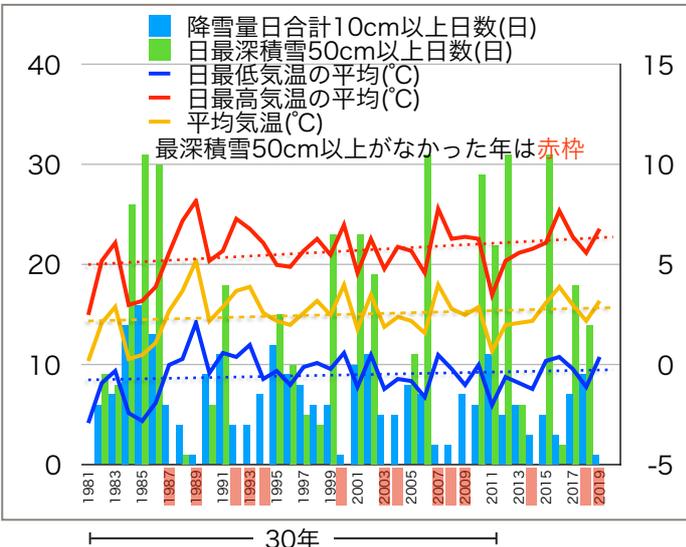


**2020年スタート
雪は無し**



恒例の元旦守護岩詣には今年は9名が参加。守護岩に新しいしめ縄を飾り、今年一年間の会員の活躍と作業の安全を祈願しました。

写真をご覧の通り、山頂の守護岩付近は一部が白い程度で積雪はありません。そしてそのまま、積雪のない日が記事を書いている28日現在まで続いています。1月に全く雪が降らなかった年はあるのでしょうか。最も環境条件に近い柳ヶ瀬アメダスの雪に関する1月の過去データを調べてみました。記録があるのは1982年からの39年分です。(1981年-昭和56年10月に観測方法を変更)合わせて同期間の今津の気温データも調べました。それをグラフ化したものが左図です。



そうしたところ、1月に積雪がゼロという年はありませんでした。ちなみに最深積雪は、記憶にある方もおられると思いますが2011年です。一方で、以前は平均して積雪が多かったとの印象を持つ人もおられるかもしれませんが、最深積雪が20cm以下だった年もあります。昨年と2007年です。ニュースレター2007年1月号 (No.86) には暖冬を懸念する記事が書かれています。また積雪が50cm以上(シカが腹がつかえて移動しにくくなるとされる深さ)の日が全くなかった年も13年ありました。気温は傾向としては温暖化していることが見て取れます。雪のデータの無い1981年は記録的な豪雪の年で気温も低めでした。30年周期で考えるとグラフにリズムがあるようにも見えますが、どうでしょうか。

雪が降らないので 作業は進む

良いのか悪いのか、雪が無いので正月明けからどんどん作業を行なっています。昨年は重機のエンジン不調で滞っていた作業道作りも、冬になってから急ピッチで進んでいます。

今月の第3土曜の保全作業日には沢山の参加者があり、作業道作り、南部湿原コアジサイ群落の環境整備、カエデ樹液採取のタンク設置作業と、三班に分かれて作業を行いました。

南部湿原のコアジサイは2006年に上層木の除伐を行なったことで光の環境が向上し、群落を形成しました。それから十数年が経過し、再度上層木が茂ってきたので一部除伐を行ない、光の環境を改善しています。

また、近年マツ枯れが多数発生しています。枯れたアカマツの処理は危険が伴うことや、動物にとっては必要なものでもあるので、そのまま放置しています。しかし、コース沿いの枯木は安全対策上、順次伐倒して行く予定です。枝が張ったままの状態では伐倒が困難なため、まずは先行して枝落としを行なっています。来年度も来訪者に安全に散策を楽しんでもらえるように作業を進めています。



作業道の先行伐採と掘削 1/12



作業道の路肩補強 1/18



作業道の端材 現場で粉碎処理 1/18



コース上の枯死木安全対策 1/22

Photo by Fujimoto



南部コアジサイ群落 環境整備 1/18

Photo by Fujimoto

今月の森の様子



ドローン空撮 湿原展望所上空より 1/12



ドローン空撮 天然更新試験地 1/12



今年によく見る 1/4



中央湿原より守護岩を望む 1/18



ドローン空撮 作業道先端部 1/12



キタヤマオウレン 1/11



サルトリイバラ霧氷 1/22